

# 防災の学び

東日本大震災から13年



東日本大震災から13年になる今年、  
元日に能登半島地震が起こり、  
自然災害の恐ろしさと防災の重要性に日本中が改めて向き合いました。  
東日本大震災の津波の被災市に建つ当館では、震災の記憶を薄れさせないため、  
毎年この時期に関連資料を展示しています。  
今年度は千葉県立銚子高等学校の「防災の学び」の生徒研究成果と連携しています。

千葉県立東部図書館 資料展示 令和6年2月23日(金)～4月18日(木)

## 地域の防災力を高める

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
1	防災に役立つ地域の調べ方講座	牛山 素行	古今書院	2012	3693/94
2	ジオっちょとちよーぴーの 自然の恵みと災害のお話し		銚子ジオパーク 推進協議会	2016	C3693/50
3	被災地あさひ 被災から復旧、そして復興へ	旭市秘書広報課 /企画・編集	千葉県旭市	2012	C3693/24
4	東日本大震災と千葉県旭市 地震・津波被災者支援活動の記録	平塚 四郎/編	エクリプス	2014	C369/36
5	我が家の防災ガイドブック		東金市	2013	C3693/36
6	防災ハンドブック		大網白里市安全対策課	2014	C3693/48
7	復興まちづくりの時代 震災から誕生した次世代戦略	佐藤 滋, 真野 洋介/編著	建築資料研究社	2006	5188/228
8	安全・安心の都市づくり 安全で安心して住める家づくり・まちづくりのために	望月 利男, 中林 一樹/編著	東京都立大学出版会	2001	51887/5
9	地震から暮らしを守る町づくり 大震災から学んだ74の提言	日本建築学会/編	彰国社	1998	52491/13
10	これでいいのか日本の災害危機管理 危機管理の基本に学ぶ	高見 尚武	近代消防社	2017	3693/112
11	防災から減災へ 東日本大震災の取材ノートから	山崎 登	近代消防社	2013	36931/229
12	防災・減災の人間科学 いのちを支える、現場に寄り添う	矢守 克也, 渥美 公秀/編著	新曜社	2011	3693/76

## 守るべき命のある現場

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
13	「東日本大震災」を振り返って その時、学校はどのように対応し、そして、震災から何を学んだか		千葉県教育委員会	2011	C3749/12
14	3.11東日本大震災に学ぶ その時の対応と危機管理		千葉県高等学校長協会 管理運営委員会	2012	C3749/13
15	命を守る教育3.11 釜石からの教訓	片田 敏孝	PHP研究所	2012	37492/13
16	東日本大震災と学校 その時どうしたか次にどう備えるか	天笠 茂, 牛渡 淳/編著	学事出版	2013	37492/15
17	命を預かる保育者の子どもを守る防災BOOK	猪熊 弘子/編	学研教育出版	2012	37614/14
18	重症児者の防災ハンドブック 3.11を生きぬいた重い障がいのある子どもたち	田中 総一郎, 菅井 裕行/編著	クリエイツかもがわ	2012	36927/267
19	現場から生まれた 介護福祉施設の災害対策ハンドブック	山田 滋	中央法規出版	2012	36926/498
20	想定外に備える企業災害対策マニュアル	C. M. ガスリッジ	翔泳社	2011	336/184

## 建物を見直そう

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
21	ビルはなぜ建っているかなぜ壊れるか 現代人のための建築構造入門	望月 重	文芸春秋	2003	524/11
22	地震に強い木造住宅	坂本 功	工業調査会	1997	52491/9
23	耐震建築の考え方	神田 順	岩波書店	1997	52491/8
24	耐震設計ってなんだろう	深澤 義和	彰国社	2009	52491/24
25	耐震・免震・制震のはなし	斉藤 大樹	日刊工業新聞社	2005	52491/20
26	耐震・制震・免震が一番わかる 現在の建築物で重要視される地震対策をまんべんなく解説	高山 峯夫, 田村 和夫/共著	技術評論社	2012	52491/27
27	耐震壁ものがたり	望月 重	鹿島出版会	2009	52491/26
28	県有建築物の耐震化整備プログラム 令和3年4月1日現在 県有建築物の耐震化状況		千葉県県土整備部 施設改修課	2021	C524/2/21

## 手の届く範囲で助け合う

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
29	防災—訓練のガイド 「頭脳の防災訓練」のすすめ	高橋 洋, 小村 隆史	日本防災出版社	2006	3693/51
30	減災と市民ネットワーク 安全・安心まちづくりのヒューマンウェア	三船 康道	学芸出版社	2012	3693/92
31	危機発生！ そのとき地域はどう動く 市町村と住民の役割	幸田 雅治, 中邨 章/監修	第一法規	2008	3693/66
32	近助の精神 近くの人が近くの人を助ける防災隣組	山村 武彦	金融財政事情研究会	2012	3693/91
33	災害からみる防災・減災Q&A	藤田 嘉美	オーム社	2011	3693/82

# とっさの判断が生死を分ける

☆印の資料は西部図書館の所蔵

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
34	にげましょう 災害でいのちをなくさないために	河田 恵昭	共同通信社	2014	3693/101
35	人が死なない防災	片田 敏孝	集英社	2012	37492/14
36	緊急地震速報 揺れる前にできること	目黒 公郎, 藤縄 幸雄/監修	東京法令出版	2007	36931/96
37	緊急地震速報 そのとき、あなたは、どうしますか？	渡辺 実	角川SSコミュニケーションズ	2008	36931/109
38	人はなぜ逃げおくれるのか 災害の心理学	広瀬 弘忠	集英社	2004	3693/37
39	生き残る判断生き残れない行動 大災害・テロの生存者たちの証言で判明	アマンダ・リプリー	光文社	2009	3693/71
40	震災自衛マニュアル 大震災が教えた生死の分かれ目	中浜 慶和, 松島 悠佐/共著	大村書店	2001	36931/54
41	緊急時サバイバル読本 生き延びる人間と死ぬ人間の科学	ローレンス・ゴンサレス	アスペクト	2004	3693/40
42	認知バイアス 心に潜むふしぎな働き	鈴木 宏昭	講談社	2020	14151/25 ☆
43	認知バイアスの教科書 あなたの世界をガラリと変える	西 剛志	SBクリエイティブ	2023	14151/26 ☆
44	不合理 誰もがまぬがれない思考の罠100	スチュアート・サザーランド	阪急コミュニケーションズ	2013	14151/46
45	有事対応コミュニケーションカ	岩田 健太郎ほか	技術評論社	2011	36145/251
46	うわさとデマ ロコミの科学	ニコラス・ディフォンツォ	講談社	2011	36145/247
47	流言とデマの社会学	広井 脩	文芸春秋	2001	36145/109
48	検証 東日本大震災の流言・デマ	荻上 チキ	光文社	2011	36145/246
49	情報行動の社会心理学 送受する人間のこころと行動	川上 善郎/編	北大路書房	2001	36145/106
50	最新Study Guide メディア・リテラシー 入門編	鈴木 みどり/編	リベルタ出版	2013	36145/179/13



## 避難生活の知恵と工夫

★印の資料は中央図書館の所蔵

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
51	防災・救急に役立つロープワーク	羽田 道信	風媒社	2008	3693/65
52	防災・救急に役立つ日用品活用法&ロープワーク	羽田 道信	風媒社	2011	3693/69/11
53	ロープワーク大研究 図解総数170点 直筆のイラストでわかりやすい	国方 成一	舵社	2011	786/34
54	和の道具の使い方 野遊びから防災まで	平山 隆一	並木書房	2011	786/33
55	21世紀サバイバル・バイブル 自然災害から犯罪まで、危機を生き延びる秘策と心構え	柘植 久慶	小学館	2001	3693/24
56	野宿大全 究極のアウトドアへの招待	村上 宣寛	三一書房	2007	786/32
57	こども地震サバイバルマニュアル	国崎 信江	ポプラ社	2006	J369/クノ ★
58	こどものための防災教室 防災グッズがわかる本	今泉 マユ子	理論社	2021	J369/イマ ★
59	防災ハンドメイド 100均グッズで作れちゃう!	辻 直美	KADOKAWA	2021	J369/ツナ ★
60	生死を分けるトイレの話 災害時のトイレ問題とその解決策	上 幸雄/編著	環境新聞社	2012	51851/10

## 食事で心身の安定を

★印の資料は中央図書館、☆印の資料は西部図書館の所蔵

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
61	今日から始める本気の食料備蓄	高荷 智也	徳間書店	2022	3693/225 ★
62	必ず役立つ震災食 最小限の水で作る超カンタン!! 栄養満点レシピ	石川県栄養士会/編	北國新聞社	2012	36931/215
63	びちくでごはん かんたんおいしい防災レシピ	粕谷 亮美/文 岡本 正子/監修	子どもの未来社	2017	J369/カリ ★
64	「もしも」のときに役に立つ! 防災クッキング 1 電気・ガスが止まったときに役立つレシピ	今泉 マユ子	フレーベル館	2019	J369/イマ/1 ★
65	「もしも」のときに役に立つ! 防災クッキング 2 水道が止まったときに役立つレシピ	今泉 マユ子	フレーベル館	2019	J369/イマ/2 ★
66	「もしも」のときに役に立つ! 防災クッキング 3 自分を守る! 食べもののそなえとじゅんび	今泉 マユ子	フレーベル館	2019	J369/イマ/3 ★
67	災害時炊き出しマニュアル 誰もがができる炊き出しを目指して	キャンパー, 日本調理科学会/共著	東京法規出版	2012	3693/93
68	災害時における食と福祉 非常食・災害食に求められるもの	新潟大学地域連携 フード サイエンスセンター/編	光琳	2011	3693/88 ★
69	これからの非常食・災害食に求められるもの	新潟大学地域連携 フード サイエンスセンター/編	光琳	2006	3693/115/1 ☆
70	これからの非常食・災害食に求められるもの 2	新潟大学地域連携 フード サイエンスセンター/編	光琳	2008	3693/115/2 ☆
71	災害時における食とその備蓄 東日本大震災を振り返って、首都直下型地震に備える	新潟大学地域連携 フード サイエンスセンター/編	建帛社	2014	3693/134 ☆
72	働く人の災害食 神戸からの伝言	奥田 和子	編集工房ノア	2008	36931/108

# 県立銚子高校の「防災の学び」

学校独自の科目「防災の学び」を設定しており、  
すべての生徒がこれを履修する。

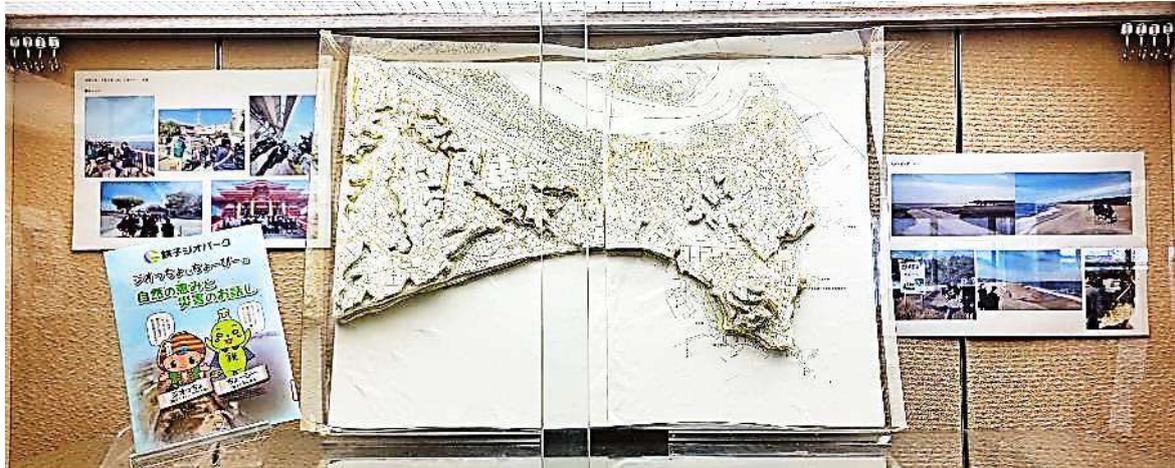
銚子の独特の地形を観察・体験する「ジオツアー」  
班ごとに設定したテーマを探究する「課題研究」  
などの活動を通じて、  
自然災害発生メカニズムを理解し  
「自助・共助」の精神を養うとともに、  
有事の際に主体的な行動をとれるリーダーシップを学ぶ。

この活動には、当館も図書資料の貸出で協力しています。  
今回の展示のために、特別に生徒の皆さんの活動成果  
「積層図」「県銚アカデミア 課題探求紀要」  
をお借りしました。

関連資料とともに、じっくりご覧ください！



## 展示紹介



### 「ジオツアー」の写真と、銚子市積層図

積層図とは土地の起伏を再現した立体地図のこと。地形や標高を立体的に認識することができる。津波がきたときどこまで浸水しそうか、どこに逃げればよいか、一目でわかります。

### 「県銚アカデミア 課題探求紀要」からの抜粋と、関連の所蔵資料

災害や社会課題に関するテーマに班ごとに取り組み、研究レポートを発表する「県銚アカデミア」。令和5年度で第6回を数え、これまでさまざまなテーマが扱われてきました。紀要から防災に関するレポートを抜粋し、千葉県立図書館所蔵の関連資料とともに展示しました。



◀ 令和5年度2年生

#### 「地震対策の昔と現在いま」

歴史的建造物の工法をふまえ、今後の耐震建築を考える。

◀ 令和3年度1年生

#### 「心理的的局面からみる災害時の行動」

令和4年度1年生

#### 「見抜く力 ～二次被害を防ぐためには～」

認知バイアスやデマのメカニズムを知り、それらに惑わされない方法を考える。

◀ 令和4年度1年生

#### 「防災バッグの必要性」

令和5年度1年生

#### 「災害時に活用できる日用品」

平時の備えと、身近なものを使って急場をしのぐ方法を知る。